

# 日本：持続可能な開発に向けた行動



平和の都市、広島に研修に訪れた研修生、広島復興から学ぶ©UNITAR

## 持続可能な開発目標の達成のために、日本政府が取り組んでいること

途上国での能力開発を通じた国際協力は、持続可能な開発目標（SDGs）の達成に繋がります。

日本政府は、世界で最も新しい国、南スーダンの、若手専門家の育成に貢献しています。国連ユニタール広島事務所が2015年より日本政府による支援を受けて実施している「[ユニタール南スーダン奨学プログラム](#)」は紛争を経験した国の安定を支援するだけでなく、国際的な目標であるSDGsを取り入れています。

このプログラムは、南スーダン政府、市民社会団体、民間団体、そして教育機関の若手専門家を対象にした6か月間の研修プログラムです。その中で、南スーダンが抱える特有のニーズに応えるため、独自のプロジェクト作成、リーダーシップ、社会起業に必要な知識やスキルに焦点を当てています。研修生が地域のニーズと国家の優先事項を把握し、独自に作成したプロジェクトを実施していくことで、南スーダンの持続的な回復と発展に貢献します。過去2年

”

このプログラムを通して、私は「協力する」ことの本当の意味を知りました。同じ国から日本に学びに来た他の研修生との間に仲間意識が生まれ、南スーダンの開発を目指して、共に協力して学びに取り組むことができました。

クリスティーナ・ピタ・  
ルクドゥ

2015年度南スーダン奨学プログラム研修生

”

組織ニーズ評価、プロジェクト作成、そしてリーダーシップに関する能力を培ったことで、組織の中で自分の役割を理解し、チームを率いることができるようになりました。また、組織の発展に必要なアクションを考え、調整する能力が鍛えられました。

マリアル・ルク

2015年度南スーダン奨学プログラム研修生



**SUSTAINABLE DEVELOPMENT GOALS**  
17 GOALS TO TRANSFORM OUR WORLD

[un.org/sustainabledevelopment](https://un.org/sustainabledevelopment)

GlobalGoalsUN

GlobalGoalsUN

# 日本：持続可能な開発に向けた行動



国内研修にて、紀谷昌彦駐南スーダン共和国大使と研修生© UNITAR



研修生が、それぞれの所属する組織において、効率的にニーズを見つけ出し、問題を解決するための能力強化研修© UNITAR

間に及ぶプログラムにより、今までに 45 人が研修を終えました。修了生は、リーダーとして活躍すること、また、それぞれの所属する組織の改革に貢献することが期待されます。2015 年度のプログラムに参加した研修生の一人は、南スーダンのある州には教育スキルの低い教師が多いことを指摘し、その州の 25%の小学生教師を対象にしたプロジェクト案を作成しました。このプロジェクトは、資金提供を受け、現在実施されています。

## なぜ南スーダンにとってこうしたトレーニングが重要なのか

南スーダンでは、30 歳以下の若い人口が全人口の 2/3 を占

める若い国であり、マネジメント、リーダーシップ、イノベーションなど人材育成に関する投資が非常に大切です。ニーズ調査、プロジェクト作成、ベスト・プラクティスの共有といった能力開発により、研修生ひとりひとりが経済的かつ社会的に安定し、ひいては南スーダンの社会全体に平和と安全をもたらします。

さらに、起業家とリーダーシップ研修を実施することで南スーダンが過度に援助へ依存するリスクを軽減することにもなります。このプログラムを通して、研修生はオーナーシップ、主体性、SDGs 達成のための長期的視点、といった意識を身に着けます。

## SDGs においてどの目標に関連しているか

このプログラムは、SDGs の以下の目標達成に貢献します。目標 4：質の高い教育(特に 4.4 と 4.7)、目標 5:ジェンダー平等と女性のエンパワーメント(5.5)、目標 10:国内及び国家間の不平等の是正(10.2)、目標 16:平和な社会と司法アクセスの推進、効果的で責任ある包摂的な制度の構築(16.6、16.7 と 16.a)、目標 17:グローバル・パートナーシップの活性化(17.9 と 17.17)。



[un.org/sustainabledevelopment](http://un.org/sustainabledevelopment)

GlobalGoalsUN

GlobalGoalsUN